

## 問題【英語】

今回は英会話の基本となる質問と返答について考えてみましょう。次の(1)と(2)の質問に対して、正しい返答の仕方は下の①～④のうちどれですか。ただし、同じものを2回選んではいけません。

(1) How are you today?

(2) Are you fine today?

① Yes, I'm fine.

② It's fine.

③ I'm a fine man.

④ I'm very well.

## 豆知識 雑学コラム

### 「正しい」返答は何？

本題に入る前に、日本語での質問と返答を考えてみます。「今日元気？」と言われて、「ちょっと調子が悪いかな…」と答えたとしましょう。二つの言葉の中に、多くの言葉が省略されていますが、それらを全て補えますか？

「今日(あなたは)元気(ですか)？」「(いいえ、今日私は)ちょっと調子が悪いかな…」となりますね。日本語では多くの言葉を省略し、相手に場の雰囲気から補ってもらいますが、英語の場合は、初回は必ず省略をしません。ただし、2回目以降は省略が起こることがあります。ここまでは日本語と英語の違いでしたが、どこかに共通点がないか調べてみましょう。日本語の質問と返答で、主語は同一のものを指していることに気が付きますか？これは英語でも共通しています。同様に、できるだけ同じ動詞を使う、というルールも共通です。ここで一度、英語の質問に対する応答のルールをまとめてみます。

- 質問と応答の主語は同一人物を指し、動詞はできるだけ同じものを使う。
- 疑問詞(whで始まる語やhow)から始まる質問にはYes/Noをつけて答えてはいけない。このとき、疑問詞と同じ品詞で答えの中心を作る。
- 疑問詞から始まっていない場合はYes/Noをつけて答えてもよい。このとき、肯定・否定の部分以外は質問と応答が同一内容でなければならない。

これらのルールを例で確認してみましょう。

例：“Did you eat my cake?”

– “No, I didn't (eat yours).”

質問が疑問詞以外から始まっているのでYes/Noで答えます。主語を同一にするためyou→Iとし、肯定・否定以外を同一内容にするためmy cake→yoursとします。ただし、同一内容の部分は省略できます。

例：“What does Tom do?”

– “He's a high school student.”

質問が疑問詞から始まっているのでYes/Noは使えません。What does <人> do?はその人のいつもやること(=職業)を聞く表現なので「高校生だ」と答えますが、動詞をdoのまま「高校生だ」とは表現できないので動詞をbeに変えています。Whatは名詞なので、名詞のa high school studentを答えの中心にします。

繰り返しになりますが、質問とその応答は会話の基本です。日本語は省略が多い文化なので見落としがちですが、会話でキャッチボールが成り立つために必要なことは英語でも同じだ、ということを知っておきましょう。